２０２３年　６月吉日

**日和空志会「第１６回大会」競技細則**

**２０２３年度も、障がい者演武、模範組手、模範演武及び団体組手を実施しません。**

**今回トライアルでマスターズ部門を年齢別で行う予定です。同部門にエントリーする場合には本年９月１日付けの年齢を必ず記載してください。**

**次回はこれを入れる**

**「幼年～小２までは、選手１名に付き保護者1名、アリーナ内への立ち入り可」**

**１　表彰**

（１）優勝、準優勝及び第３位にメダル又は楯及び賞状並びに第５位に賞状を授与します。但し、基本的な考え方を、参加登録者数に応じて以下の通りとします。なお、その詳細は、別途実行委員長が決定します。（プログラムに記載）

表　　彰　　一　　覧

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| NO | エントリー数 | メダル又は楯＋賞状 | 第五位（賞状のみ） | 備　　考 |
| １ | ４名以下 | 優勝 |  |  |
| ２ | ５～８名 | 優勝・準優勝 |  |  |
| ３ | ９～１６名 | 優勝・準優勝・第３位×２ | 第五位なし |  |
| ４ | １７名以上 | 優勝・準優勝・第３位×２ | 第５位×４ | 敢闘賞→第５位 |

**２　競技における服装等共通事項**

（１）**原則マイ帯の使用とします。また、大会事務局では赤帯＆青帯は用意しません。形競技の場合には、演武位置で赤青を区別します。組手競技の場合は、拳サポーターの色で区別します。**

（２）ワッペン及び肩章等は、特段の制限をしません。

（３）形式は任意ですが、小学２年生以下は、平仮名フルネームのゼッケンを着用します。**名前が分かるものであれば、ゼッケンの書式は問いません。**

（４）**形競技於ける「判定」の呼称及び笛又は電子ブザーは、当該５名の審判員以外の審判員又は補助役員が行います。**

**３　カテゴリー（種目）**

（１）形及び組手の競技カテゴリーは、以下の通りとします。

　　　　幼年男子　幼年女子　小１男子　小１女子　小２男子　小２女子

小３男子　小３女子　小４男子　小４女子　小５男子　小５女子

小６男子　小６女子　中学男子有級　同左有段　中学女子有級　同左有段

　　　　高校男子有級　高校女子有級　高校男子有段　高校女子有段

　　　　成年男子有級　成年女子有級　成年男子有段　成年女子有段

　　　　ﾏｽﾀｰｽﾞ男子有級　ﾏｽﾀｰｽﾞ女子有級　ﾏｽﾀｰｽﾞ男子有段　ﾏｽﾀｰｽﾞ女子有段

　　　　ｽｰﾊﾟーﾏｽﾀｰｽﾞ男子（有級）　ｽｰﾊﾟーﾏｽﾀｰｽﾞ女子（有級）

ｽｰﾊﾟーﾏｽﾀｰｽﾞ男子（有段）　ｽｰﾊﾟーﾏｽﾀｰｽﾞ女子（有段）

（２）参加人数により、適宜、統廃合します。その判断は、実行委員長に一任します。

（目安：４名未満は競技を統廃合します。）

**４　形競技**

（１）フラッグ制で実施します。

（２）小学生以下の競技細則は、以下の通りとします。

①　ベスト１６までは、基本形（平安・ピンアン、鉄騎・ナイファンチ、撃砕・ゲキサイ、大極又はこれらに準ずるもの。）とします。

②　準々決勝（ベスト８）からは、予選とは別の形とし、今まで演武していない基本形、全空連指定形（第一指定形及び第二指定形：以下特に指定がない場合は同じ。）又は自由形とし、決勝まで同じ形を繰り返し演武する事が出来ます。なお、小学２年生までは、決勝まで同一の形も可とします。

（３）中学生以上の競技細則は、以下の通りとします。

①　ベスト１６までは、基本形又は全空連指定形とします。

②　準々決勝（ベスト８）からは、予選とは別の基本形、指定形又は自由形とします。

**（４）棄権者が相当あり、トーナメントに不均衡が生じた場合には、参加者の同意を得て、組み換えを行います。**

**（５）２０２３年度も、模範演武を行いません。**

使　　用　　形　　一　　覧

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| NO | カテゴリー | ベスト１６まで（予選） | 準々決勝～決勝 | 備　　考 |
| １ | 小学生以下 | 基本形（平安・ピンアン、鉄騎・ナイファンチ、撃砕・ゲキサイ、大極又はこれらに準ずるもの。） | 予選とは別の形とし、今まで演武していない基本形、全空連指定形（第一指定形及び第二指定形：以下特に指定がない場合は同じ。）又は自由形とし、決勝まで同じ形を繰り返し演武する事が出来る  なお、小学２年生までは、決勝まで同一の形も可とする | 準々決勝からは自由形可。  小学３年生以上は準々決勝から形を変更する。 |
| ２ | 中学生以上 | 基本形又は全空連指定形 | 予選とは別の基本形、指定形又は自由形とし、決勝まで同じ形を繰り返し演武する事が出来る |  |

**５　組手競技**

（１）原則２０２３年４月１日現在適用の全空連ルール及び大会審判団申し合わせ事項で行います。なお、**小学生以下は「１２歳未満ルール」を、中学生は「１４歳未満ルール」を適用します。＜２０２３年９月より新ルールが適用される場合には、参加団体責任者と協議の上で対応します。＞**

（２）試合時間１分で、４ポイント差又は６ポイント差とします。

（３）安全具等は、全空連競技規定に準ずるものとし、その詳細は以下の通りとします。

①　セーフテイーカップ

小学３年生以上の男子は、着用を義務付けます。小学生２年生以下の男子は、着用が望ましいものとします。

②　ボデイプロテクター

全員着用を義務付けます。中着けを原則としますが、外着けも可とします。

③　拳サポータ－

全員着用を義務付けます。全空連公認の赤青及びリーバーシブル並びに全空連公認でなくても安全性が確認されている赤青及び白のいずれも可とします。但し、自分の色と反対色の拳サポータ－は不可とします。（例：赤の場合の青拳サポータ－）

　　④　メンホー

全員着用を義務付けます。

　　⑤　インステップガード及びシンガード

全員着用を義務付けます。

（４）棄権者が相当あり、トーナメントに不均衡が生じた場合には、参加者の同意を得て、組み換えを行います。

（５）**２０２３年度も「模範組手」（日本空手協会ルール及び錬部会ルール）を行いません。**

安　　全　　具　　等　　一　　覧

|  |  |
| --- | --- |
| 全　　般 | ・全空連競技規定に準ずるものとする |
| セーフテイーカップ | ・小学３年生以上の男子は全員着用とする。小学２年生以下の男子も着用が望ましい  ・着用者は全員内着とする |
| ボデイープロテクター | ・全員着用する  ・内着を原則とするが外着も可とする |
| 拳サポーター | ・全員着用する  ・全空連公認品又は安全性が確認されているもの  ・赤青の他に白を認める  ・青（赤）の選手が赤（青）の拳サポーターを着用する事（反対の色）は認めない  ・小学生以下はリバーシブルを、中学生以上は丸拳を推奨する |
| メンホー | ・全員着用する  ・全空連認定品が望ましい  ・全空連認定品についてはバージョン５以上が望ましい |
| インステップ及びシンガード | ・全員着用する |
| マウスピース | ・着用は任意とする |
| マイ帯 | ・**原則マイ帯を使用する** |
| ゼッケン | ・小学２年生以下は着用（形式は任意）とする |
| ワッペン及び肩章等 | ・特段の制限をしない |

**６　「**ﾏｽﾀｰｽﾞ**部門」及び「**ｽｰﾊﾟーﾏｽﾀｰｽﾞ**部門」の実施について**

次の条件により、「ﾏｽﾀｰｽﾞ有級部門」及び「ﾏｽﾀｰｽﾞ有段部門」並びに「ｽｰﾊﾟｰﾏｽﾀｰｽﾞ有級部門」及び「ｽｰﾊﾟｰﾏｽﾀｰｽﾞ有段部門」の競技を実施します。

（１）ﾏｽﾀｰｽﾞ部門の参加条件は、以下の通りとします。

①　男子：２０２３年　９月　１日現在　満４０歳以上（申込時点では、ありません。）

②　女子：２０２３年　９月　１日現在　満３５歳以上（申込時点では、ありません。）

（２）ｽｰﾊﾟｰﾏｽﾀｰｽﾞ部門の参加条件は、以下の通りとします。

①　男子：２０２３年　９月　１日現在　満６０歳以上（申込時点では、ありません。）

②　女子：２０２３年　９月　１日現在　満５０歳以上（申込時点では、ありません。）

（３）形は、以下の通りとします。

　　①　フラッグ制で行います。

②　形は自由とし、決勝まで同じ形を繰り返しても良いし変えても良いものとします。

（４）組手は、以下の通りとします。

　　①　ルール及び安全具は、高校生以上と同様とします。（決勝まで行います。）

（５）その他

　　①　組合せは、事前にプログラムに記載しますが、参加人数によっては、当日トランプによる抽選で行う場合もあります。

　　②　通常の競技との選択制とします。（両方には、参加できません。）

**７　有段部門について**

（１）本年度も、有段部門を実施しますが、昨年同様、有段部門については、形及び組手とも最初に実施し、終了後は審判を行って頂ける様に、強く要望します。

**８　シードについて**

（１）申込書のコメント欄にシードの旨を**記載した場合のみシード**をします。　　以上